**第２学年１組　国語科学習指導案**

**1 単元名・教材名**　音読げきをしよう「お手紙」

**2 児童の実態と本単元の意図**

　本学級の児童は、これまでに「ふきのとう」「スイミー」などの文章教材の学習をしてきている。これらの学習を通して、人物の行動や会話から、場面の様子について想像を広げながら読むことができるようになってきた。「どうぶつ園のじゅうい」の学習では、時間的な順序を考えながら内容を読み取ることを学んだ。また、感想をまとめて作文を書く活動を通して、自分の考えを表すこともできるようになってきた。しかし、自分の考えを表現することに消極的な児童もいる。

　本単元では、登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読み、工夫して音読劇をすることをねらいとしている。また、「お手紙」を読む中で、手紙を書く楽しさを知り、実際に物語の登場人物に手紙を書くことや、物語を自分の経験と結びつけて感想をもつことも大切にしていきたい。

　本時では、「じんぶつのしたこと、言ったことに気をつけて、「お手紙」を読もう」という学習課題を立て、場面ごとに登場人物の台詞や行動を整理する学習を行うようにする。また、工夫した音読の効果に気付くことができるようにする。

**3 単元の目標**

○読み取ったことや感じたこと、書いたことを、意欲的に発表したり話し合ったりすることができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（国語への関心・意欲・態度）

○手紙を書く楽しさを知り、物語の登場人物に言ってあげたいことを手紙に書くことができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（書くこと）

○物語を読み、自分の経験と結び付けて、感想を発表し合うことができる　（読むこと）

○場面の様子について、登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読み、声の出し方などを工夫して音読劇をすることができる。

（伝統的な言語文化と国語の特質に関わる事項）

**4 単元の評価規準と学習活動に即した評価規準**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ア　国語への関心・意欲・態度 | ウ　書く能力 | エ　読む能力 | オ　言語についての理解 |
| 単元の評価規準  評価規準 | ・場面の様子について、登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読み、声の出し方などを工夫して音読劇をしようとしている。  ・読み取ったことや感じたこと、書いたことを、意欲的に発表したり話し合ったりしようとしている。 | ・手紙を書く楽しさを知り、物語の登場人物に言ってあげたいことを手紙に書いている。 | ・物語を読み、自分の経験と結び付けて、感想を発表し合っている。 | ・主語と述語の関係を理解している。 |
| 学習活動に即した評価規準 | ①自分が感じた物語のおもしろさが伝わるように、音読劇をしようとしている。  ②人物の様子や気持ちを想像し、物語の様子が伝わるように工夫して音読しようとしている。 | ①手紙のよさに気づいて、自分の思いを手紙に書いている。  ②自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えて書いている。 | ①語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。  ②場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいる。  ③登場人物の行動や出来事から場面の様子を想像し、お気に入りの場面を見つけている。  ④自分の音読と友達の音読を聞き比べて、感想を深めている。 | ①誰が何をしたという教科書の文章から、場面の状況を読み取り、理解している。 |

**5 指導と評価の計画（全10時間扱い）**本時3／10時

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時 | 主な学習活動 | 学習内容 | 評価規準・評価方法 |
| 1 | ○「お手紙」を聞いて「がまくんとかえるくんになって音読劇を楽しもう」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。 | ○学習課題の設定  ○学習計画の立案 | ア① |
| 2  ・  ③  ・4 | ○「お手紙」を読み、おおまかな内容をつかむ。 | ○場所を表す言葉に着目した読み方  ○行動と会話の整理 | エ①　オ①  ・発表の内容や態度の考察 |
| 5  ・  6 | ○音読したい部分を決め、ノートに書き写して、読み方や動きについて書き込む。 | ○視写の仕方  ○音読の工夫 | ア②　エ③  ・ノートの考察 |
| 7  ・8 | ○グループで音読劇の練習をし、自分の音読の仕方を考え直す。 | ○役割読み  ○声の大きさ、速さ、間の取り方の工夫 | ア①②  ・グループ活動の内容や態度の考察 |
| 9 | ○音読劇を行い、感想を伝える。 | ○根拠を明らかにした感想の発表の仕方  ○交流の仕方 | ア①②　エ②④  ・発表の内容や態度の考察 |
| 10 | ○手紙を書いたり、もらった手紙について感想を交流したりする。 | ○手紙の書き方  ○交流の仕方 | ウ①②  ・ワークシートによる考察 |

**6 本時の学習指導（本時3／10時）**

（1）目標

　○場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいる。

（2）評価規準（1時間の授業に即した具体的なもの）

|  |
| --- |
| エ　読む能力 |
| ①語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。 |

（3）展開（○は指導上の留意点・工夫　　　　内は評価を表す）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 学習内容 | 指導と評価の創意工夫 | 時間 |
| 1 前時の学習の復習をする。  2 本時の学習課題をつかむ。  じんぶつのしたこと、言ったことに気をつけて、「お手紙」を読もう。  3 ③の場面を音読する。  +  4 ③の場面での行動と会話を整理する。  C1: がまくんが、お昼寝をしている。  C2: がまくんは、お手紙を待つのにあきあきしている。  C3: がまくんは、かえるくんがお手紙を出したことを知った。  C4: ふたりは、お手紙をまっていた。  5 ペアで役割分担して音読する。  6 本時のまとめを行う。 | ・前時の学習の振り返り  ・本時の学習課  　題  ・音読の工夫  ・内容理解  ・ペアでの音読  エの①語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。　（机間指導による考察）  （発表の内容や態度による考察）  語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて、人物の違いや状況が伝わるように工夫して音読しようとしていれば、「おおむね満足できる状態である」と判断することができる。  ・学習のまとめ | ○前時までに確認した単元のめあてを確認し、音読劇に対する意欲をさらに高めるようにする。  ○前回学習したがまくんの家、かえるくんの家（教科書10ページ10行目まで）での出来事を思い出すようにする。  ○前時に行った活動から、本時に何をするのか予想を立てられるようにする。  ○音読劇をするためには、何が大切なのかを考え直すようにする。  ○登場人物の気持ちを考えること、声の出し方や表情を工夫することが大切だということを確認するようにする。  ○③の場面（教科書11ページから最後まで）を全員で音読するようにする。  ○声の大きさ、速さ、姿勢に気をつけて、誰の台詞かを考えながら音読するようにする。  ○がまくんの台詞には赤い丸、かえるくんの台詞には黒い丸を書くことで、誰の台詞なのか区別がつくようにする。  ○活動が停滞している児童には、前時での同じ活動を思い出すよう声をかける。  ○書画カメラで教科書を写しながら、全員で誰の台詞なのかを確認するようにする。  ○がまくんの台詞とかえるくんの台詞で役割分担して音読することで、誰の台詞かを意識して音読できるようにする。  ○誰が何をしたかについて個人で考え、教科書に線を引くようにする。  ○考えた箇所について発表し、全員で共有するようにする。  ○多く出てくる、「言いました。」の部分を先に全員で確認し、台詞がたくさんあることに注目するようにする。  ○③の場面での出来事をまとめるようにする。  ○二人の様子と会話から、それぞれの気持ちを想像できるように、状況を整理するようにする。  ○誰が何を言ったのかを理解して、ペアで音読するようにする。  ○ナレーション部分は2人で読むようにする。  ○実際にペアで音読してみることで、これから音読劇について考えていくきっかけとなるようにする。  ○音読劇に必要なことを思い出して、台詞は登場人物になりきって読むことが大切だということに気付くようにする。  ○声の出し方などを考えているペアを指名し、音読するようにする。  ○友達の音読を聞いて、読み方の違いに気付くようにする。  ○気付いた工夫を取り入れて、ペアで目標をたて、もう一度音読するようにする。  ○本時で学習した場面とその内容について確認するようにする。  ○次回は音読劇をしたい部分を決めることを伝え、期待を持たせる。 | 5’  3’  10’  15’  7’  5’ |

**7 備考**在籍児童数　35名

**8 板書計画**

めあて

　じんぶつのしたこと、言ったことに

気をつけて、「お手紙」を読もう。

１０月５日　お手紙

　③がまくんの家

　　　　　　・おひるねをしている。

　　　　　　・お手紙をまつのにあきあきしている。

　　　　　　・かえるくんがお手紙を出したことを知った。

　　　　　　・まどからのぞきこんだ。

　　　　　　・お手紙をまっていた。

　　　　　　・しあわせなきもちでまっていた。

まとめ

　じんぶつのようすや、気もちがわかると、

くふうして音読ができます。